

滋賀県堅田看護専門学校
令和4年度学校評価報告書

滋賀県堅田看護専門学校の学校関係者評価委員会規定に基づき、令和4年度の学校評価を実施したので報告します。

1. 自己評価の実施

期間	令和4年12月14日(水)から12月16日(金)		
職員数	18名	回収15名	(回収率83.3%)
学生数	137名	回収56名	(回収率40.9%)

2. 学校関係者評価委員会の実施

日時 令和5年3月14日(火) 15:00~16:00

場所 滋賀県堅田看護専門学校 講堂

評価委員

○学校運営、学生の育成に関わりがある者(運営委員会構成員)

森田 豊 氏 公益社団法人 滋賀県私立病院協会 副会長
マキノ病院 理事長

橋本 勲 氏 公益社団法人 滋賀県私立病院協会 事務長部会長
山田整形外科病院 事務長

○実践的かつ専門的な職業教育に関する理解及び識見を有する者(実習施設関係者)

福田 直美 氏 高島市民病院 看護部長

西村 宏美 氏 琵琶湖大橋病院 看護部長

○卒業生代表(同窓会役員)

比嘉 絵里香氏 滋賀県堅田看護専門学校同窓会会長
医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 看護師長

○教育に関する理解及び識見を有する者(外部講師)

鈴木 竜雄 氏 滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師

立命館大学・大阪経済大学はじめ多数の教育機関の講師

マルティネス 真喜子 氏 滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師

3. 本学の教育理念・教育目的

1) 教育理念・目的

滋賀県私立病院協会初代会長、加藤明の教えである「観る 観られる 解る これこそ看護の神髄を本校の教育理念とし、豊かな人間性と知性を育むとともに、地域社会の保健・医療・福祉の発展に貢献する人材の育成を目的とする

2) 教育目標

- (1) 尊厳ある命と人格を尊重する態度を養う
- (2) 豊かな感性を養う
- (3) 科学的根拠に基づいた看護を実践する基礎的な能力を養う
- (4) 保健・医療・福祉におけるチームの一員として、看護の役割を果たす能力を養う
- (5) 看護を探究する態度を養う

4. 令和4年度 事業計画に定めた重点的に取り組むとした事業計画の概要

- (1) 地域医療に貢献できる学生の確保
- (2) 看護師国家試験合格率の向上をはかる
- (3) 教育内容・教育方法の充実をはかる
- (4) 円滑な学校運営に努める

5. 全体評価

評価項目別では、職員評価の高評価は、「学生支援」「広報活動」であり、低評価は、「社会貢献・地域貢献」である。「社会貢献・地域貢献」が低評価の理由は、コロナ禍にあり地域に出向いての防災訓練や学校に地域の方を招いての研修会が開催できていない事があげられる。

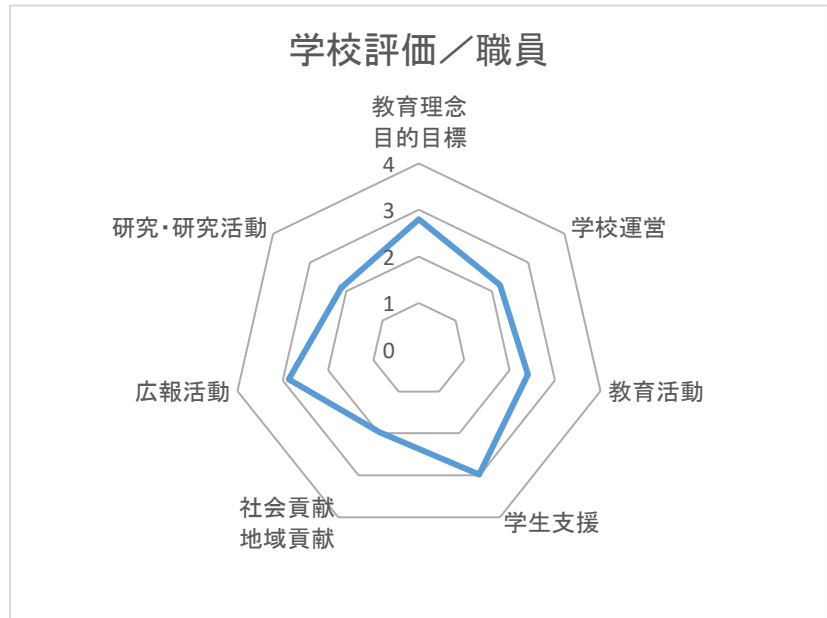
一方、学生評価の高評価は、「教育理念・目的・目標」「教育活動」「教育環境」であり、低評価は、「社会貢献・地域貢献」である。「社会貢献・地域貢献」が低評価の理由は、昨年来のコロナ禍にあつて、ボランティア活動がおこなえなかったためであると考えられる。

コロナ禍により活動が制限されて3年が経過した。令和5年度はコロナが5類に変更され、活動制限も緩和される傾向にある。臨地実習での学習活動に影響が出ないように注意しつつも、学校行事や地域貢献、ボランティア活動を平常に戻していく。

学外委員より、アンケート回収率が非常に低いことについてご指摘をもらった。毎年の結果はホームページに公開しているが、学生の目につき、改善されたという実感もてるフィードバックが返せていないことも要因の一つであると考えられる。学生自身が実感できるような取り組みを実行していきたい。

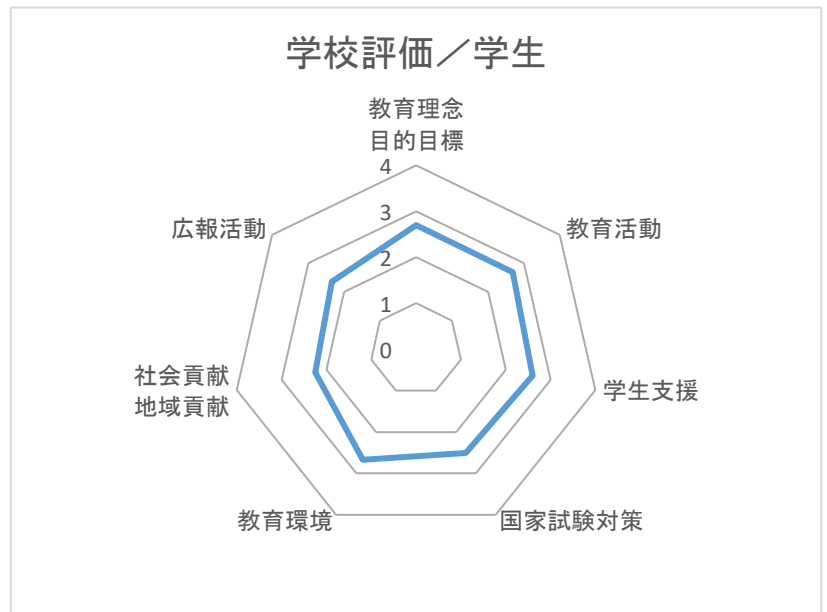
学校評価／職員

教育理念 目的目標	2.8
学校運営	2.23
教育活動	2.4
学生支援	2.98
社会貢献 地域貢献	1.97
広報活動	2.87
研究・研究活動	2.13



学校評価／学生

教育理念 目的目標	2.7
教育活動	2.69
学生支援	2.6
国家試験対策	2.5
教育環境	2.67
社会貢献 地域貢献	2.25
広報活動	2.35



令和4年度 学校評価 集計結果 職員

領域	評価項目（教育活動 10～21、31.32 は教員のみ回答）	平均 (各4点満点)
1. 教育理念・目的・目標	1. 教育理念・目標を知っている。	2.80
	2. 教育理念・目標は分かりやすい。	
2. 学校運営	3. 講義概要（シラバス）の内容はわかりやすい。	2.23
	4. 組織体制において意思決定システムが明確になっている。	
	5. 職員の意思や意見は、組織における意思決定に反映されている。	
	6. 定められた諸規則が遵守され、運用されている。	
	7. 学則等諸規定の整備、見直しは適正になされている。	
	8. 学校の財政基盤を確保するための考え方と対策は明確にされている。	
	9. 組織における意思決定は職員に周知されている。	
3. 教育活動	10. 講義概要（シラバス）を教員は熟知している。	2.40
	11. 成績評価の客観性、公平性は確保されている。	
	12. 成績不良者への対応は組織的になされている。	
	13. 授業について学生の評価を把握し、授業に反映している。	
	14. 教育について組織的に評価し、課題に取り組んでいる。	
	15. 3年間を通して国家試験対策を立て合格に向けて取り組んでいる。	
	16. 教員が授業の準備をする時間がとれる体制を整えている。	
	17. 効果的な教育指導を行うために、教員間の協力体制が明確になっている。	
	18. 各実習についてわかりやすく説明している。	
	19. 実習指導は指導者との役割を分担し協力をして指導している。	
	20. ソーシャルメディアについての適正な教育に取り組んでいる。	
21. 個人情報の取り扱いについてわかりやすく説明している。		
4. 学生支援	22. 奨学金制度について周知し、手続きについて支援している。	2.98
	23. 看護師資格未取得の卒業生へ資格取得に対して支援している。	
	24. 防災のための取り組みが行われていることを知っている。	
	25. 学生の悩み、相談には適切に応じている。	
5. 社会貢献・地域貢献	26. 地域・社会に貢献する活動をしている。	1.97
	27. 学生のボランティア活動を奨励、支援している。	
6. 広報活動	28. 学生募集の情報は共有できている。	2.87
	29. 学生募集に関する広報活動が計画的にされている。	
	30. ホームページは適宜更新され、必要な情報が掲載されている。	
7. 研究・研修活動	31. 教育方法の工夫等資質向上のための取り組みがされている。	2.13
	32. 研究会に参加する等の研究活動が保障されている。	

令和4年度 学校評価 集計結果 学生

領域	評価項目（教育活動9～11は実習経験がある2、3年次生のみ回答）	平均 (各4点満点)
1. 教育理念・目的・目標	1. 教育理念・目標を知っている。	2.70
	2. 教育理念・目標は分かりやすい。	
2. 教育活動	3. 講義概要（シラバス）の内容はわかりやすい。	2.69
	4. 講義概要（シラバス）は学習を進めるにあたって役立っている。	
	5. 授業内容（講義・演習）はわかりやすい。	
	6. 授業評価について自分の感想や意見を述べる機会がある。	
	7. 各実習において実習の進め方等の説明が行われている。	
	8. 実習要項の説明はわかりやすい。	
	9. 臨地実習は授業で学んだ内容（知識・技術・態度）を実践できる機会となっている。	
	10. 実習中困った時に教員と指導者から助言や指導を受けられる。	
	11. 実習の指導内容はわかりやすい。	
	12. ソーシャルメディアの教育に取り組んでいることを知っている。	
	13. 個人情報の取り扱いに注意が払われていることを知っている。	
3. 学生支援	14. 進路・就職に関して提供される情報は参考になる。	2.60
	15. 奨学生制度について提供されている情報は参考になる。	
	16. 心理療法士の相談窓口「ひだまり」を知っている。	
	17. 学生生活について相談したいときに対応してもらえる。	
	18. 悩み・相談があるときタイムリーに対応してもらえる。	
	19. 体調管理について取り組んでいることを知っている。	
	20. 防犯対策に取り組んでいることを知っている。	
	21. 防災のための取り組みが行われていることを知っている。	
22. 学校は学生生活がリラックスできるように整備されている。		
4. 国家試験対策	23. 3年間を通して国家試験対策が立てられていることを知っている。	2.50
	24. 国家試験や国家試験対策について相談しやすい。	
5. 教育環境	25. 教室は整備され利用しやすい。	2.67
	26. 実習室は整備され利用しやすい。	
	27. 図書室は整備され利用しやすい。	
6. 社会貢献・地域貢献	28. ボランティア活動が紹介されていることを知っている。	2.25
7. 広報活動	29. 本校のホームページはわかりやすい。	2.35
	30. 本校の訪問活動（高校訪問など）を知っている。	